

久野 松義 議員

現市民病院を存続させ、
どのような病院にしますか

Q 問 掛川市との新病院建設協議会で話し合い中で、方針を出しがたいが、いかがでしょうか。

A 答 新しい病院が確定してから、現病院をどうするか結論を出していく。新病院では全部は考えないので、残りの部分について、ある程度の施設も必要であると考えている。

シルバー人材センターへの
指導支援は

Q 問 センターの会員と業務量が減っている。高齢者の貴重なマンパワー活用を再考してください。

A 答 会員の高齢化など厳しい状況にあるセンターでは、就業開拓や就業先訪問等に力を注ぎ、新しい業務の検討も行っている。

市としても積極的に支援していきたい。

入札・指名・議会運営委員会
対応は適正に

Q 問 市民が安心する事務執行をされたいが。

A 答 電子入札を導入し、入札の透明性を高めるよう取り組んでいる。また、入札の事務執行にあたっては、情報の管理を徹底しなければならないと考えている。



袋井市民病院

高木 清隆 議員

まちづくり三法の改正とにぎわい
新都心まちづくり計画について

Q 問 三法見直しのキーワードを、まちづくりの観点から、どうとらえているのか。

A 答 集約型都市構造、いわゆるコンパクトシティを実現し、多くの人にとって暮らしやすいまちをつくることであると考えている。

Q 問 国の施策であるコンパクトなまちづくりとにぎわい新都心まちづくり計画の整合性をどう図るのか。

A 答 この計画は、JR袋井駅南地区から国本地区までを新たな都心地域と定める袋井市版のコンパクトシティづくりである。地方がアイデンティティを持ったまちづくりを行い、それが従前よりもコンパクトな方向に向かっていけば、国の考えに基本的に

相反するものではないと考えている。

Q 問 中心市街地活性化計画(案)における内閣府の指導事項に対し、袋井商工会議所との調整をどう図り、今後どのような取り組みをするのか。

A 答 国の指摘事項を踏まえ、庁内において各事業の熟度をさらに詰め、袋井商工会議所や地域住民の方々との話し合いを重ねながら事業を進めていきたいと考えている。



磐田市で開業が予定されている「(仮称)ららぽーと磐田」の完成予想図